

1. 実施機関

国立大学法人琉球大学

2. 企画名

津梁と創造の科学人材育成プログラム

3. 総合評価コメント

受講生の募集・一次選抜に関しては、初年度の経験を生かし、県教育委員会や沖縄美ら島財団および地域の高校等との連携を着実に進め、2年度目には初年度より倍以上の応募者を集めたことは評価できる。また、育成プログラムに関しては、第一段階では基礎プログラムや、応用プログラムにおいて多岐にわたる体系的な講義と実習が行われ、第二段階ではかなりの時間数を設けた充実した研究活動が実施されている。メンターの教育に関しても、手引き書などを作成し、研修を通して教育的観点を指導し、メンターとしての資質を高める工夫が見られる。さらに、国際学会での研究発表、沖縄県と共催する「沖縄科学技術教育シンポジウム（OASES）」への積極的な参加など、受講生が創出する成果についても評価できる。

しかしながら、第一段階の応用プログラムにおいて、当初提案された実施機関の特色を生かした「海洋天然科学系」、「亜熱帯生物系」、「島嶼産業系」に関する講義が実際には少なかった点は残念である。また、研究成果の創出に関しては、全国レベルの科学技術コンテスト（科学オリンピックなど）への積極的な参加を促進する必要がある。今後、関係機関との更なる連携強化により、幅広い内容のプログラムや沖縄ならではの取組が創出されることを期待する。